

『高松市病院事業経営健全化計画(平成30年度～令和2年度)』の取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【令和元年度の評価】

令和3年2月2日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質・透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で10年目を迎える。

今般、令和元年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成30年3月に策定した第3次経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）において、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』を定め、その実現に向けて、開院2年目を迎えた「みんなの病院」では、「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を基本的な考え方として、公営企業として求められる「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回行った令和元年度の取り組み実績に関する評価は、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、第二回目の緊急事態宣言下において開催された。大都市部を中心に「医療崩壊」が叫ばれるほどに医療の逼迫が深刻であることは高松市内の医療関係者にとって避けがたい現実であると受け止められている。そのような社会情勢にあって、みんなの病院は率先して感染者の受け入れを行い、市内の医療提供体制の維持に貢献しているところであり、評価委員でもある市医師会会長や大学病院院長からその働きに対して感謝の言葉と今後への期待が述べられたほどである。

今回、評価の対象となる令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の前年度にあたる。したがって、感染症拡大の影響は僅かであり、評価項目26項目中、23項目が「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、医業収益が前年度を大きく上回る等、経営改善は機能の面でも収支の面でも順調に推移してきたことが認められた。ただし、医療機能の向上に伴う施設管理経費や医薬品・診療材料費が増大しているという課題は依然として存在している。

地域に必要な医療を継続して提供していくためには、がん医療や救急医療、地域包括ケア等の後方支援機能の強化とともに、患者の確保につながる取組を再検討しながら、あらゆる観点から医療の効率性の確保に努め、経営改善に取り組むことが必要である。これまでの取組を改めて評価・検討し、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」となるよう期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、令和元年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分又は、取組を進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的又は、目標達成のための取組ができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は2項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は11項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

救急医療の推進や常勤医師数の増加へつながった医師確保機能の強化、地域包括ケア等の後方支援機能の強化、地域医療機関への積極的な訪問による地域医療連携の推進など取り組み実績は、市内の医療提供体制の維持向上に資するものと高く評価する。

ただし、費用と収益との結びつきが明確でない点は改善の余地がある。市民への説明責任を果たす観点から、これまでとは異なるアプローチについても検討されたい。

当年度は経営健全化に向けて「助走」の期間であり、すべての取り組みが順調に推移したことは、職員個々の皆さんの積極的な参画の成果であると推察する。その経験がコロナ禍において、積極的な感染者受け入れを可能にし、市内の医療提供体制維持に少なからず貢献していることに結びついているものと確信する。

コロナ禍収束の時期については不明であるが、引き続き市民「みんな」の暮らしに安心を与える医療機関として機能発揮されることを期待する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R元	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	2項目	15%
評価結果『○』とした項目	11項目	85%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R元 総括 評価	H30 総括 評価	H29 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	◎	◎	○
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	○	○	◎
4 医療安全の強化	○	○	○
5 医療品質の向上	○	◎	◎
6 災害医療機能の強化		○	◎
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	○	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	○	◎	○
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	○	○	○

総合評価	○	○	○
------	---	---	---

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は2項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は8項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は3項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で77%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

人口減少の止まらない塩江地区において、訪問診療や訪問看護等を通じた地域医療の推進や、交通手段を持たない地域住民のための患者送迎バスの運行など患者の視点に立ったサービスの提供等に着実に取り組んでおり、評価できる。

今後は、地域包括ケアシステムにおける塩江分院の役割を十分に認識し、地域のニーズをふまえた医療サービスを提供することで、「地域まるごと医療」の更なる実践に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R元	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	2項目	15%
評価結果『○』とした項目	8項目	62%
評価結果『△』とした項目	3項目	23%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R元 総括 評価	H30 総括 評価	H29 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	○	○	○
2 医師の確保機能の強化	○	○	○
3 スペシャリストの育成	○	○	○
4 医療安全の強化	○	◎	◎
5 医療品質の向上	○	△	◎
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	△	○	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	◎
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	△	○	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	○	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	△	○	◎
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎

総合評価	○	○	○
------	---	---	---